

救命講習会の種類・内容を見直し、より講習を受けやすい多様な環境を整備しました  
 新しくなった救命講習の特徴

- ①講習時間を分割して、複数日に分けて講習することが可能となりました。
- ②インターネットを利用したeラーニングを受講することで、各講習時間の短縮が図れるようになりました。
- ③受講年齢を見直し、10歳(小学校高学年)から受講可能な、救命入門コースを新設しました。
- ④小児・乳児・新生児等に特化した普通救命講習Ⅲ(3時間)を新設しました。

現行の講習

上級救命講習  
(480分)

普通救命講習  
Ⅰ

普通救命講習  
Ⅱ

・その他の講習(時間適宜)

改定後

標準講習				導入型講習	・その他の講習 (時間適宜)
上級救命講習 (480分)	普通救命講習 Ⅰ (180分)	普通救命講習 Ⅱ (240分)	普通救命講習 Ⅲ	救命入門コース (90分)	
普通救命講習に加えて、傷病者の管理法、副子固定法、搬送法を習得する講習。	心肺蘇生法・AEDの使用方法を主体とした、市民が受講する一般的な講習。	業務の内容、活動領域から、一定の頻度で心肺停止の対応を期待される又は想定される者に対する講習。	小児・乳児・新生児に対する応急手当を中心とした講習。	受講対象者は概ね10歳以上(小学校高学年以上) ※本コース受講後、120分の実技講習を受講すれば、普通救命講習	
eラーニングを用いた講習				eラーニング不可	
分割型講習可					
【修了証交付】				【参加証交付】	

